



- ・「シトルリン」と「アルギニン」がNO(一酸化窒素)サイクル※を活性化  
※NOサイクルは血管を拡張し血流を良くする働きがあると報告されています。
- ・「オルニチン」もNOサイクルの活性をサポートするとともに疲労回復に寄与
- ・上記3種のNO産生アミノ酸を「コエンザイムQ10」、「イノシトール」、「ビタミンB・C・E」がサポート

成分:1回量 30g中

- ・シトルリン(Citrulline):10,000mg
- ・アルギニン(Arginine):8,000mg
- ・オルニチン(Ornithine):5,000mg
- ・コエンザイムQ10(Coenzyme Q10):1,000mg
- ・イノシトール(Inositol):1,000mg
- ・ビタミンB1(Vitamin B1):200mg
- ・ビタミンB2(Vitamin B2):200mg
- ・ビタミンB3(Vitamin B3):300mg
- ・ビタミンB5(Vitamin B5):100mg
- ・ビタミンB6(Vitamin B6):100mg
- ・ビタミンB12(Vitamin B12):0.5mg
- ・ビタミンE(Vitamin E):300mg
- ・ビタミンC(Vitamin C):1,000mg
- ・クエン酸(Citric Acid):2,000mg

#### ■シトルリン(Citrulline)、アルギニン(Arginine)、オルニチン(Ornithine)

アルギニンは体内で酵素と反応してシトルリンに変化する時に一酸化窒素(NO)を産生し、またシトルリンはアルギニンへと変化します。この一連の流れを一酸化窒素(NO)サイクルと呼び、一酸化窒素は血管を拡張し血流を良くする働きがあるため酸素や栄養素を身体中により多く運ぶ効果や新陳代謝を上げる効果があるとされています。また、激しい運動下ではエネルギー源としても使われるので運動能力を向上させる効果もあるとされています。また、シトルリン、アルギニン、オルニチンは相互的に働きアンモニアを分解、解毒する(オルニチンサイクル)という作用があり、これにより疲労回復や筋肉痛の予防などに効果があるとされています。また、運動時にエネルギー源となるアデノシン三リン酸の産生にも関係している他、ストレスの軽減や成長ホルモンの分泌を促進し新陳代謝を活性化にする効果もあるとされています。

#### ■コエンザイムQ10(Coenzyme Q10)

細胞のミトコンドリアが、細胞のエネルギー源であるATP(アデノシン三リン酸)を作り出すために必要な補酵素で、細胞や組織の生命活動には欠かせない成分です。特に運動によってATP産生が活発になるとコエンザイムQ10の供給が間に合わなくなるため、補給する必要があります。また、強力な抗酸化作用があり、ミトコンドリア内で活性酸素をブロックすることで、運動時においては抗疲労効果が報告されています。また、血液の流れや細胞の活性化を促し、新陳代謝を高め、免疫力の向上にも効果があるとされています。脂溶性のため脂質の多いものと同時に摂取すると吸収率が高まり、ビタミンC、ビタミンEと同時に摂取することでより抗酸化作用の効果が高まるとされています。

#### ■イノシトール(Inositol)

神経細胞や筋肉組織を構成するビタミン様物質で、細胞の成長・促進に不可欠な成分です。肝臓や血管の健康を維持する働き、神経機能を正常に保つ働き、腸の筋肉の活動を高める働き、などが報告されています。

#### ■ビタミンB群(Vitamin B)

ビタミンB群はお互いに協力関係を持ちながら様々な物質の代謝に関わる補酵素の働きがあります。主にビタミンB1は糖質をエネルギーに変える働きがあり、B2とB3は三大栄養素の代謝を促進させてエネルギーの産生を行う働きがあり、B5は様々な代謝に広く関わり、B6はタンパク質の分解や合成を行う働きがあり、B12には赤血球を生成する働きがあります。これらB群の働きにより、筋肉疲労の回復や軽減、生体免疫力を向上させる効果が期待できます。

#### ■ビタミンC(Vitamin C)

代表的な抗酸化ビタミンの一つで、特にヒドロキシルラジカルに対して優れた活性を示します。ビタミンEと連携(酸化されて効力を失ったビタミンEをもとの形に戻す、コエンザイムQ10にもこの作用がある)して働くことも認められています。

#### ■ビタミンE(Vitamin E)

代表的な抗酸化ビタミンの一つで、特に脂質ペロキシラジカルに対して優れた活性を示します。体内では細胞膜に局在し、活性酸素による酸化障害から細胞を守り、過酸化脂質の産生を防ぐことが報告されています。

#### ■クエン酸(Citric Acid)

有機酸の一種で、疲労回復や筋肉痛軽減に効果があるとされています。細胞内で栄養分をエネルギーに変える代謝経路であるTCA回路のキープラーとして重要な働きをします。また、ミネラルの吸収を促進し肝機能の改善にも効果があるとされています。

#### ■使用方法

- 1回30gを水で溶かして投薬器で与える、もしくは飼料に混ぜて与えてください。
- ※レース・追いっこの1時間~1時間半前を目安に摂取させてください。